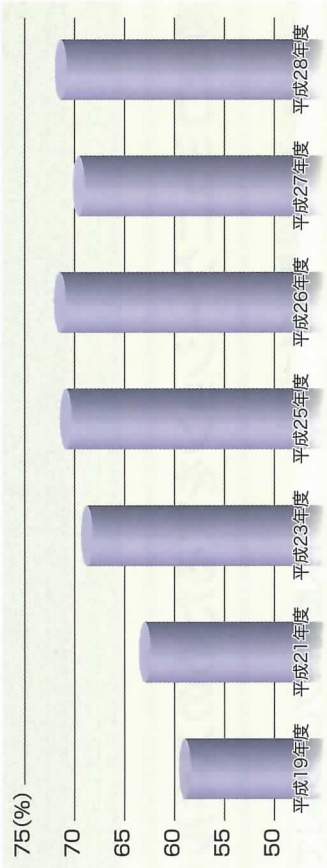


「人間関係プログラム」とは

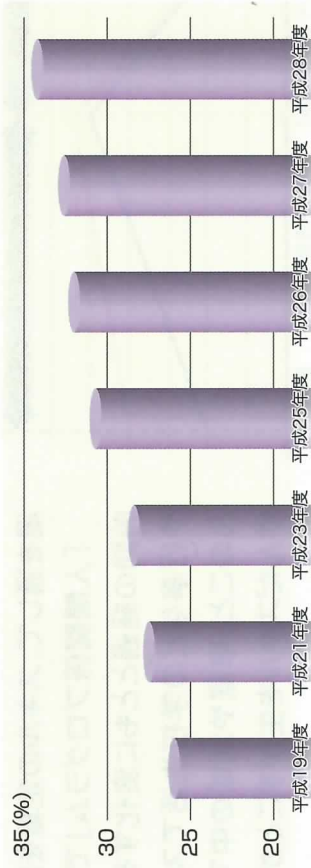


人間関係プログラムの効果を測るために、 年3回、「人間関係プログラム」に係る調査を行い、 児童生徒は次のように回答しています。

●「人間関係プログラム」に係る調査集計結果(各年4月調査)より ※質問に「全くそのとおり」と回答した児童生徒の割合の推移



**私のクラスは、
明るくて楽しい
クラスです。**



**私は、
自分のことが
好きです。**

「人間関係プログラム」チェックリスト

- 誰かが話しかけてきたとき、自分のしていることをやめて、話を聞くようにしています。
- 相手に体を向けて話を聞くようにしています。
- しっかり相手の顔を見て、話を聞くようにしています。
- うなずいたり、返事をしたりしながら相手の話を聞くようにしています。
- 自然に相手の目を見て、自分の気持ちや考えを伝えるようにしています。
- はっきり「ありがとう(ございます)」と言っています。
- 相手のことを考えて話すようにしています。

ご家庭で
ご活用ください



詳しくは…

さいたま市教育委員会学校教育指導2課

〒330-9588 埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-4 TEL 048-829-1668

このリーフレットは57,000部印刷し、1部あたりの印刷経費は5円です。

あなたは、どのようなとき、どのように受け答えしますか？



ねえねえ、
〇〇さんが持っている
漫画の本を貸してよ。

困ったなあ。次の土・日曜日で
読もうと思っていたのに…。



どうしよう…。次の日曜日は
水泳の大会があるんだよね…。

〇〇くん、
次の日曜日、
いっしょに遊ばない？

どちらも内心は断りたいと思っている場面です。このときの上手な断り方について考えてみましょう。

上手な断り方の例は、このリーフレットの中にあります。



「人間関係プログラム」とは



目的

人と接する際に必要な姿勢・態度、感情のコントロールの仕方、相手の感情を読み取る仕方などについて楽しく学び、日頃の授業や行事などをはじめとする直接体験の場で定着を図ります。

潤いの時間「人間関係プログラム」の授業

実施学年

- 小学校3・4・5・6学年の全児童
- 中学校1学年の全生徒

実施時数

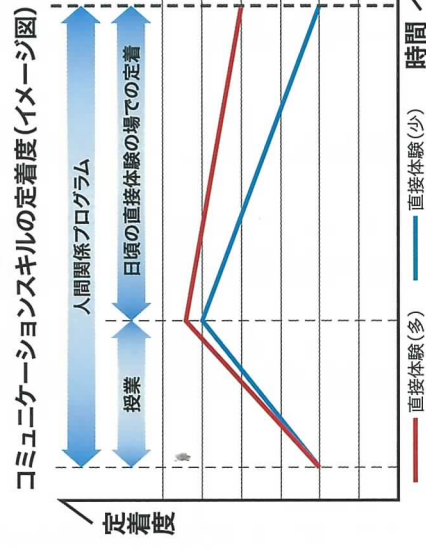
- 小学校は、各学期はじめに6時間の授業を実施
- 中学校は、1学期はじめに6時間、2・3学期はじめに各3時間の授業を実施

実施方法

- 学級担任が指導します。

目指す成果

- ①学級にあなたたかな人間関係を育む・自己主張、自己開示、自己表現できる雰囲気づくり
 - ②会話において必要となる基本的なスキル(技術)の習得
 - ・「話をする人に体を向ける」「話をしている人を見る」「あいづちをうつ」などスキルの習得
 - ③相手とトラブルなく円滑に自分の意思を伝えるスキル(技術)の習得
 - ・「4段階法」「I message」などのスキルの習得
- *各学期で①～③を実施しています。



快適なコミュニケーションをするためのスキル(技術)の定着度

「人間関係プログラム」では、スキル(技術)を学ぶ、潤いの時間「人間関係プログラム」の授業や直接体験の場を通して、スキルの定着を図る活動を行っています。

「人間関係プログラム」で学んだスキルの定着度は、時間の経過とともに変化することが予想されます。授業や行事などの学校生活でスキルを生かすことはもちろんのこと、家庭や地域の中でも、繰り返しプログラムで学んだスキルを生かすことが大切です。

学校では…

- クラスの係決めをしているとき、意見のぶつかり合いがありました。そんな時は、4段階法(左下参照)を上手に使用して相手と会話するように指導しています。

家庭において…

- 保護者がお子さんに声をかけた時、お子さんがゲームをしながら返事をした。そんな時は、「学校の人間関係プログラムの授業で会話をするときは、相手に体を向け、相手の目を見て教わったよね。」と、お子さんに確認をしてください。
- お兄さんが宿題をやっている時、妹さんが「一緒に遊んでよ!」と言ったところ「今宿題やっているから、そんな暇ないよ!」と妹さんを責めるような返事をした。そんな時は、「ごめんね。今宿題をやっているから、終わったあとで遊んであげてね。」と言うように、教えてあげてください。

コミュニケーションスキルを定着させるために…

あなたは、このようにとき、どのように答えますか? (答え方の例)

「ごめんね。実はその漫画はまだ読み終わってないんだ。だからもう少し待ってよ。再来週なら貸せようよ。」

「ごめんね。実はその日、水泳の大会があったから遊べないんだ。再来週の日曜日に遊ぼうよ。」

「相手とトラブルなく円滑に自分の意思を伝える方法」として、4段階法を用います。

潤いの時間「人間関係プログラム」の授業で行う4段階法とは…

小学校高学年 対象 ◆相手に対して上手に断る技術(例)

- 1 相手に応えられない残念な気持ちを伝える
- 2 断る理由を伝える
- 3 断る
- 4 代わりの案を伝える *左記参照

中学生 対象 ◆相手とトラブルなく自分の意思を伝える技術(例)

- 1 事実を確認する
- 2 感じたことを伝える
- 3 代案や提案をする
- 4 相手が肯定または否定したときの対応を考え、伝える



親子支援プログラムを実施しています!!

さいたま市教育委員会では、家庭教育学級やPTA連合会、各学校のPTAの会合等において、教育委員会の担当者が訪問し、体験講座を実施しています。ぜひ、一度お試しください。

体験例

- 3つの「さく」を使い分けて、わが子の思いを受け止める
- リフレーミングで、わが子への見方・考え方の枠組を変える

*「親子支援プログラム」では、楽しみながら役割演技やグループ討論等を行い、子どもとのコミュニケーションについて考えます。